

人と人とのつながり

なぎさ小学校五年一組

松本 潔司

ほくは今、とても元気にくうしています。

それは、阪神淡路大震災の時お父さんかお母さんのおなかを守ってくれたからです。でもそれだけではありません。近所の人か助けてくれたのがあります。もちろんボランティアの人たちの力もあります。そうやって、人と人がつながって生きていくことに、ほくはとても感バしました。ボランティアの活動は

かんたんに来ることではないと思います。

お金ももうえないから、ほくだったら来うボランティア活動はしないと思います。でも当時ボランティア活動をしていた人がいるんたから、その人たちがすごいと思ひました。自分のことだけか思っ、て生きていくのではなく、他人のことか思っ、て生きていきたいなと思ひました。

水、電気、ガス、食やるもの、この四つは最も生活に必要なものなのに、このものがな

くな。た生活をした人がいたと考えると、
今、この四つのものが使えて、食べられること
を心から感謝しないといけないと思いましたが、
ほくほ今日は生きています。これは、人と
人とがうながり合い、協力しているから今も
生きていられているんだと思います。だから、
これがうと、今日の岸本くるみさんの言葉を
心に残して、これがうと生きていきたいと思
いました。